

3. 牧野の現状と5年前との比較

(1) 牧野総面積

図1に阿蘇地域における平成10年と平成15年の牧野面積の比較を示した。牧野の総面積では306haの減少となっている。減少の内訳は、機能停止牧野(276ha)、再編縮小牧野(15ha)、用地買収等(15ha)となっている。減少した地目は、牧草地在454haとなっているが、野草地は148ha増加している。

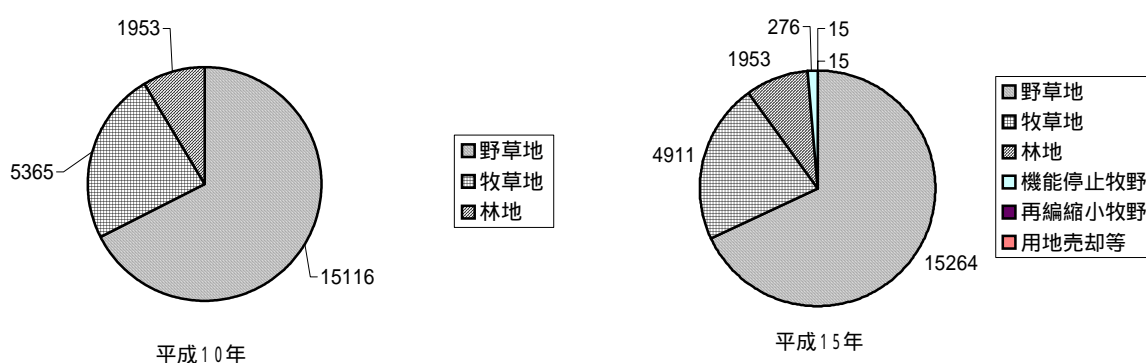


図1 阿蘇全体の牧野面積の比較(平成10年、15年)(単位: ha)

(2) 入会権者数

図2に、平成10年、平成15年の阿蘇郡全体の入会権者数、農家数、有畜農家数(いずれも戸数)を示した。入会権者数は、平成12年度国勢調査による阿蘇郡の全世帯数24,683戸のうち約4割を占める。

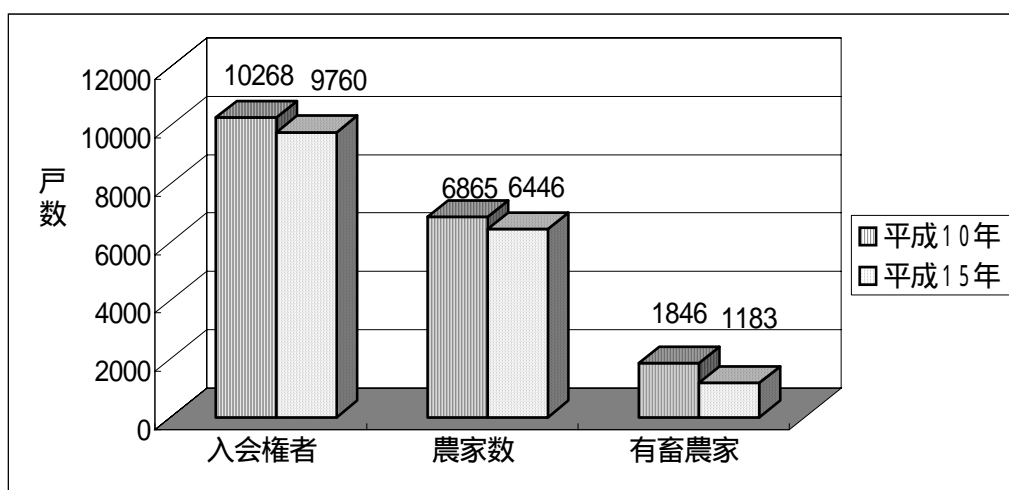


図2 阿蘇郡全体の入会権者、農家数、有畜農家数の比較

平成 10 年と平成 15 年を比較すると、入会権者戸数、農家数、有畜農家数共に減少傾向にある。特に有畜農家は、36%の減少となっており、大幅に減少している。このような有畜農家数の急激な減少は、放牧などによる牧野利用の低下に繋がると考えられる。

なお、入会権者戸数の減少理由としては、「死亡や高齢化による」、「組合脱退」、「なんのメリットもないため脱退」、「権利放棄」などがあげられた。

入会権者数の減少率が大きな牧野は表 1・図 3 のとおりである。5 年間で入会権者数が半数以下に減少したのは 3 牧野あり、最も減少率の大きな組合では 80%の減少率を示している。

表 1 入会権者数の減少が著しい牧野

町村名	牧野組合名	入会権者数		減少数	増減率
		平成10年	平成15年		
阿蘇町	二三五区牧野	15	3	12	80%
一の宮町	日の尾牧野	110	35	75	68%
一の宮町	泉牧野	14	7	7	50%
南小国町	赤馬場牧野	194	110	84	43%
高森町	河原牧野	16	10	6	38%
阿蘇町	農事組合法人西小園原野組合	45	30	15	33%
産山村	中央牧野	3	2	1	33%

減少率：(平成 10 年 - 平成 15 年) / 平成 10 年 × 100

有畜農家数の減少率が大きな牧野は表 2・図 4 のとおりである。5 年間で有畜農家がいなくなった牧野が 5 組合あり、畜産利用が行われなくなった牧野も生じ始めていることが判る。また、図 5 には、各牧野の 60 才代以上の有畜農家割合を、また、図 6 には 50 才代以上の有畜農家がいる牧野に対する後継者の有無を示した。60 才代以上の有畜農家が占める割合の高い牧野が阿蘇郡全域で多い。このうち、50 才代以上の有畜農家に後継者のない牧野が 42 牧野 (対象とした 124 牧野の 34%) あり、有畜農家の高齢化と後継者難が進んでいる。

表 2 有畜農家数の減少が著しい牧野

町村名	牧野名	有畜農家数		減少数	減少率
		平成10年	平成15年		
南小国町	斧隠牧野組合	1	0	1	100%
南小国町	星和部落	1	0	1	100%
小国町	雨包牧野財産組合	1	0	1	100%
蘇陽町	梶原牧野組合	1	0	1	100%
久木野村	上二子石牧野組合	5	0	5	100%
阿蘇町	農事組合法人西小園原野組合	5	1	4	80%
産山村	南田尻牧野組合	5	1	4	80%
西原村	宮山牧野組合	30	6	24	80%
産山村	板木原牧野組合	8	2	6	75%

減少率：(平成 10 年 - 平成 15 年) / 平成 10 年 × 100

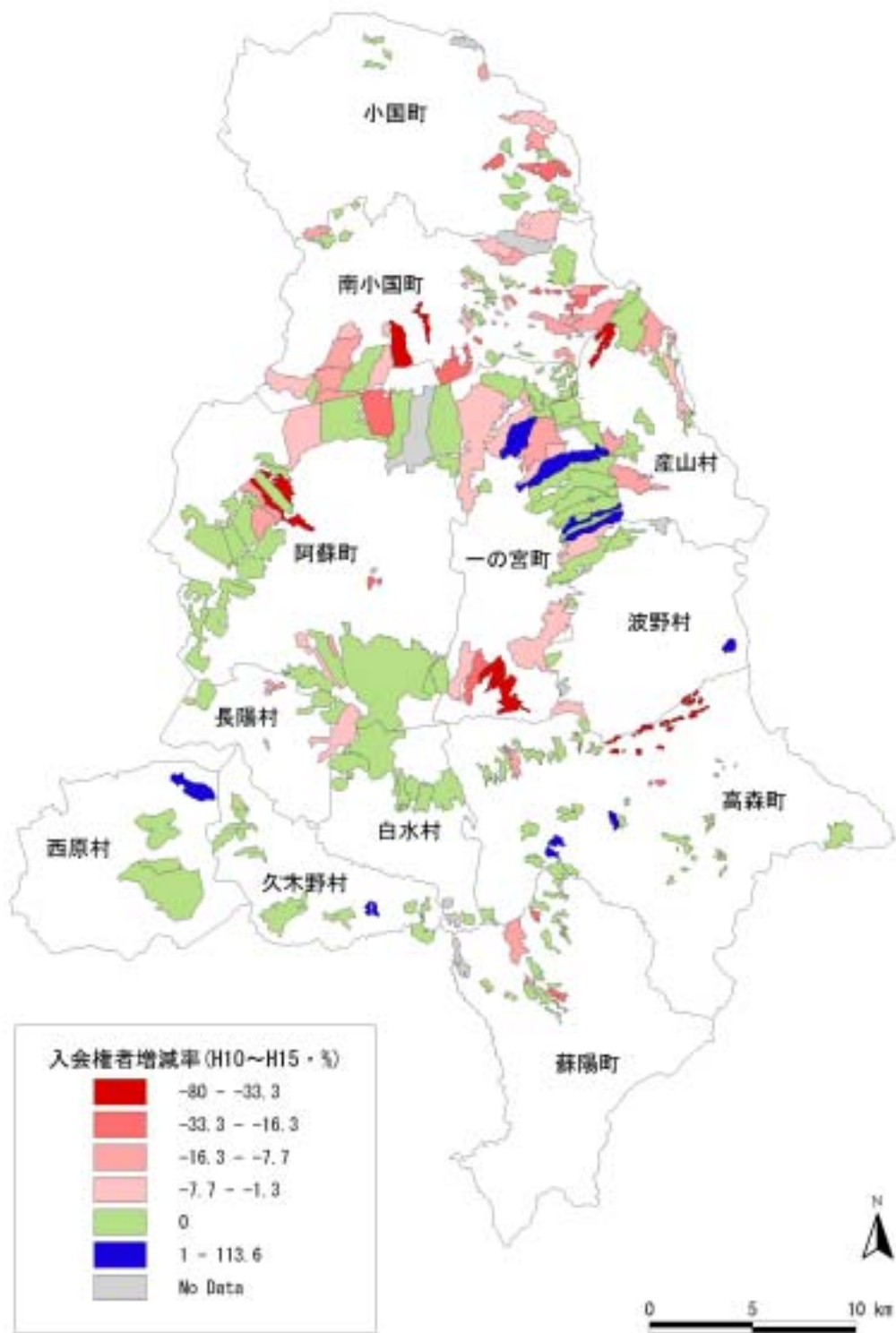


図3 阿蘇郡内の牧野の入会権者増減率（平成10年～平成15年）

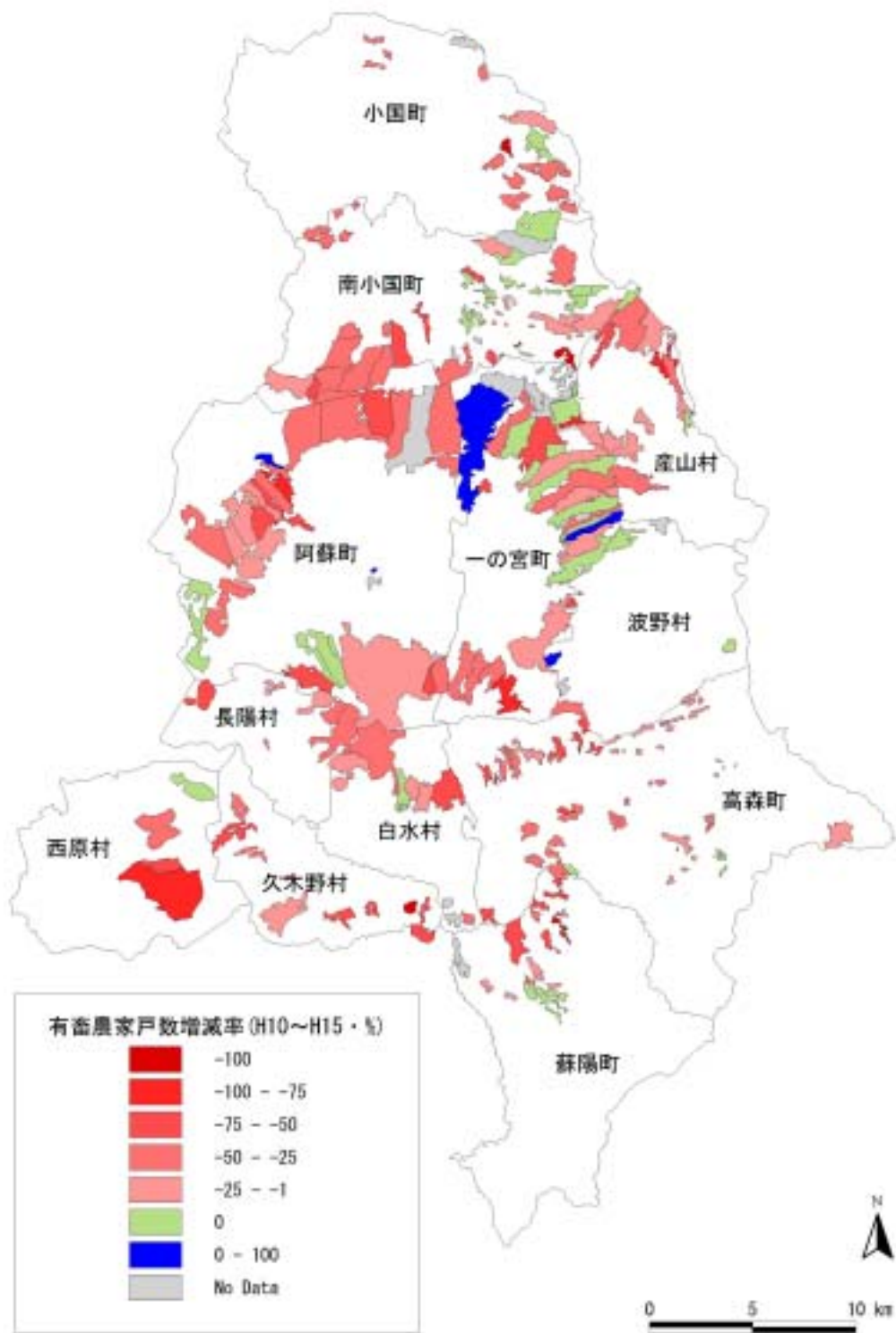


図4 阿蘇郡内の牧野の有畜農家戸数増減率（平成10年～平成15年）

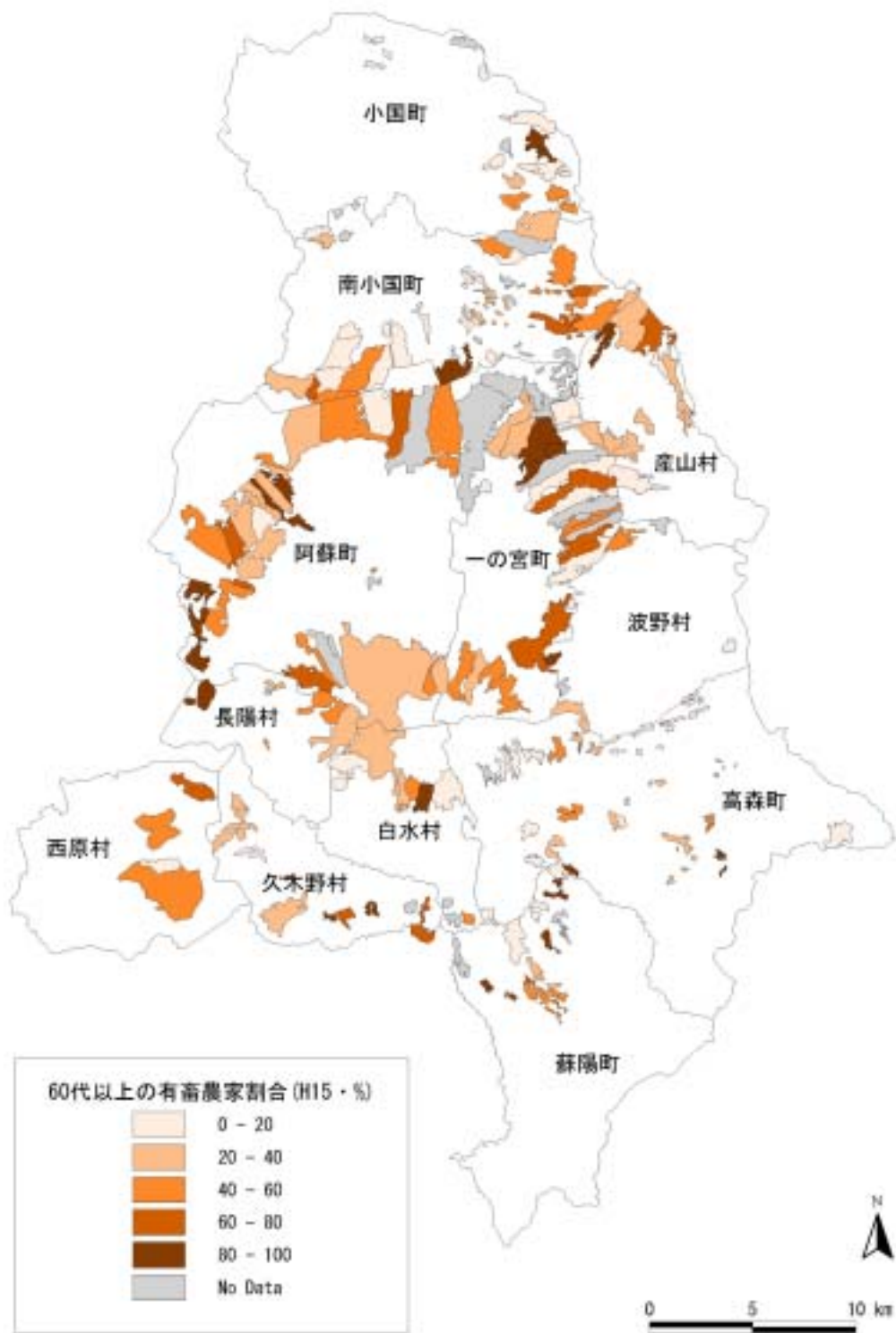


図5 阿蘇郡内の牧野における60代以上の有畜農家割合(平成15年度)

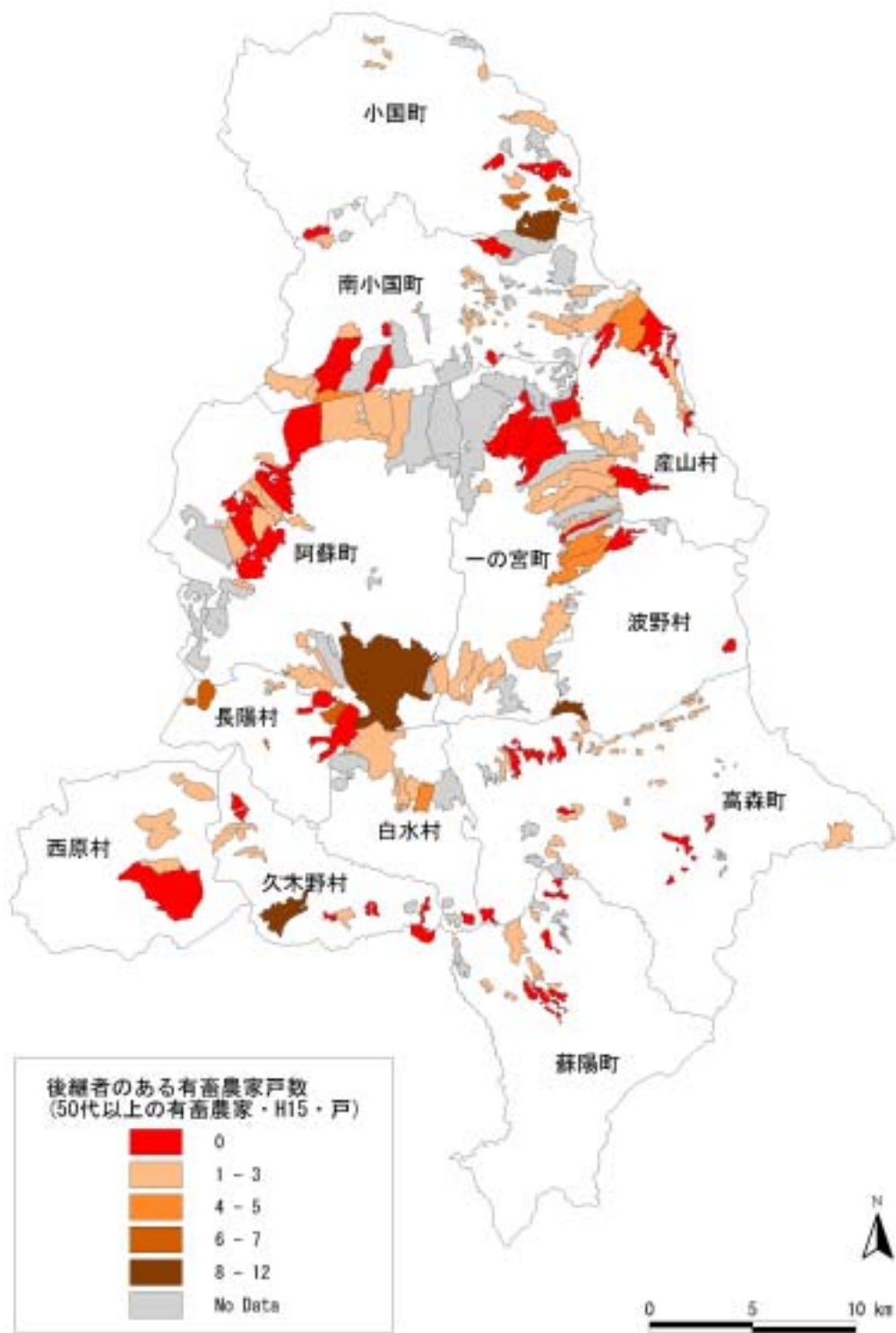


図6 50才以上の有畜農家がいる牧野（124 牧野）における、後継者のある有畜農家戸数（平成15年度）

なお、有畜農家の実数ベースで世帯主の年代構成を見ると（有畜農家 1183 戸のうち世帯主年代について回答があったのは 1063 戸分）、世帯主が 40 代以下の農家は 26.0%に過ぎず、50 代が 35.4%、60 代 25.5%、70 代以上 13.1%となっている。また、50 代以上の農家（計 787 戸）で後継者があるのは 201 戸、約 1/4 にとどまり、現在の世帯主が 40 代以下の農家（計 276 戸）と合わせて 40 代以下の農業者がいる農家は計 477 戸、全体の半数に満たない（44.9%）ということになる。

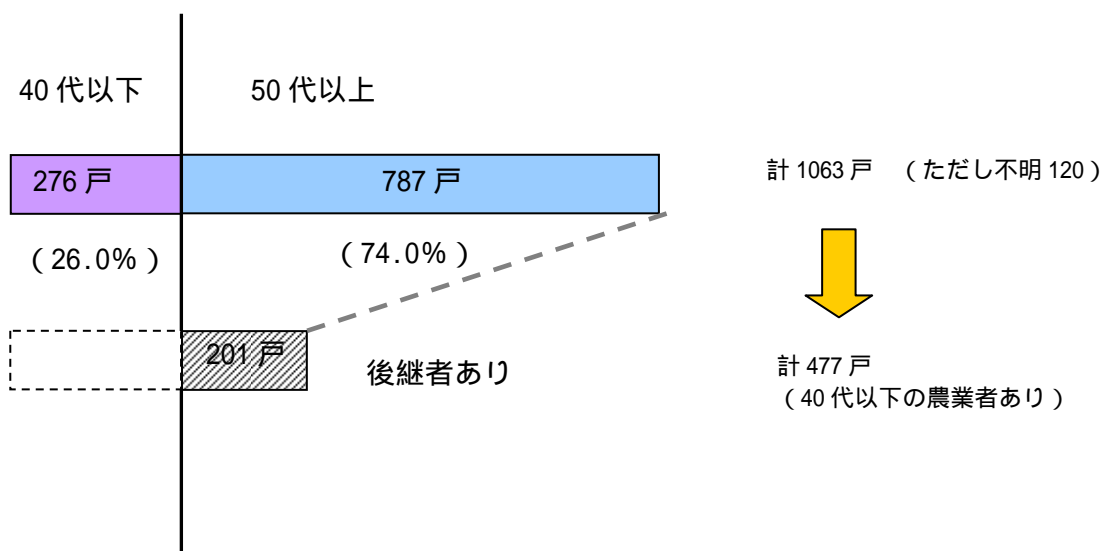
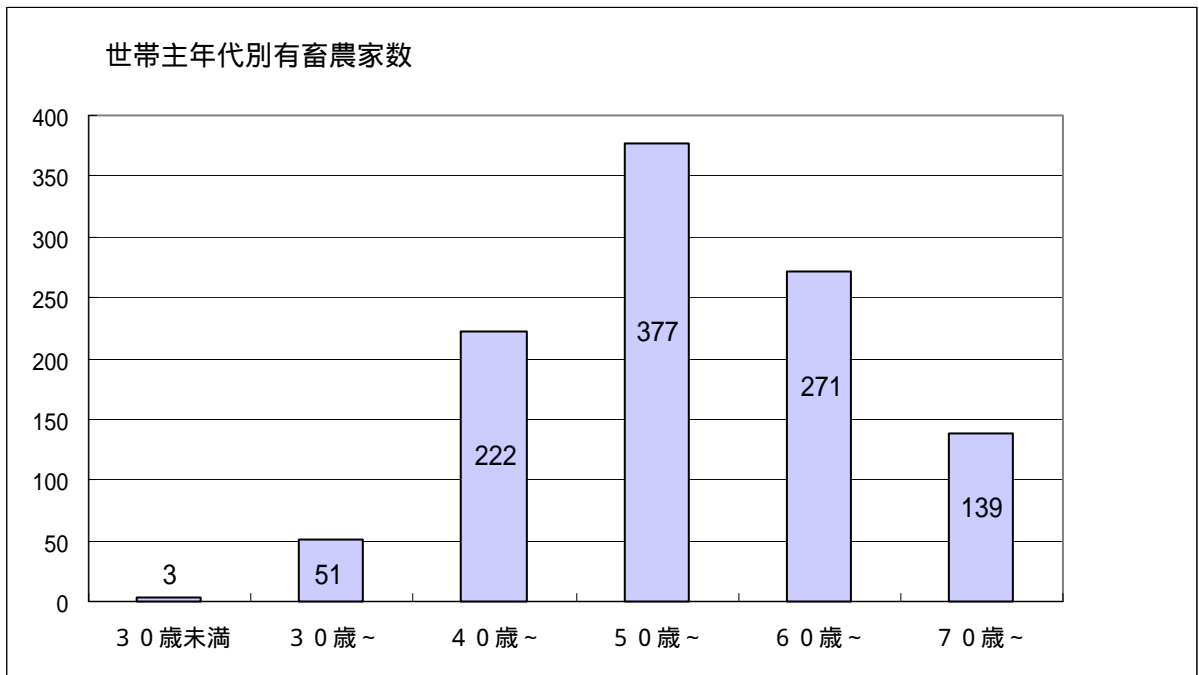


図7 有畜農家世帯主の構成と後継者の状況

(3) 放牧状況

図8に、平成10年、平成15年の阿蘇郡全体の放牧頭数と預託頭数、仔牛頭数（ともに内数）を示した。平成10年度の調査時には、預託頭数の調査は行われていない。

平成10年度との比較では、放牧頭数は約1,800頭(17%)減少している。仔牛頭数に至っては、約40%減少している。

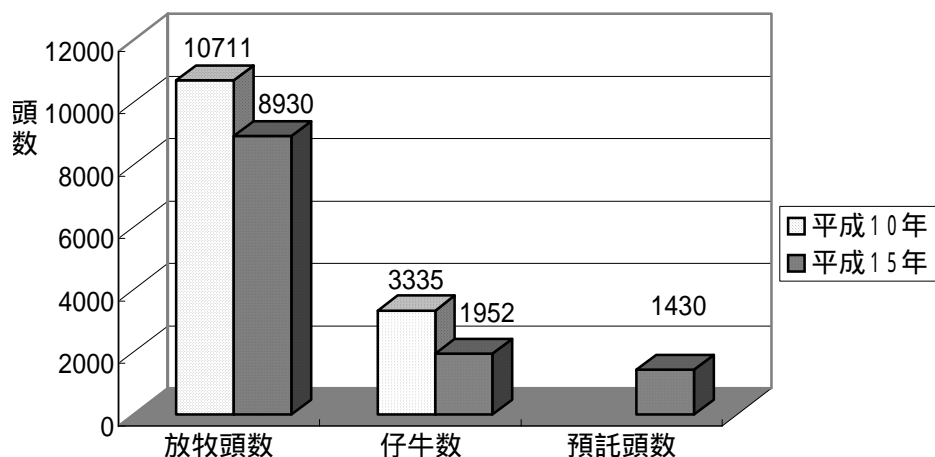


図8 阿蘇郡全体の放牧頭数における預託頭数、仔牛頭数の比較（平成10年、平成15年）

注) 平成10年調査では、委託頭数の調査を行っていない。

表3 平成15年度町村別預託頭数

預託頭数は、放牧頭数の16%を占めている。町村別に預託頭数をみると、阿蘇町が1,063頭と最も多く、阿蘇地域内の預託頭数の74%に達する。

また、波野村の笹倉牧野組合では、1牧野で100頭の受け入れを行っていたり、蘇陽町では、隣接する宮崎県からの受け入れを行うなど様々な受け入れ方法によって実施されている。

町村名	預託数(頭数)
一の宮町	40
阿蘇町	1063
南小国町	41
小国町	22
産山村	0
波野村	100
蘇陽町	42
高森町	48
白水村	29
久木野村	15
長陽村	30
西原村	0
合計	1430

(4) 野焼き状況

表4 町村別野焼き面積の比較 (ha)

町村名	平成10年	平成15年	増減
一の宮町	3051	3160	109
阿蘇町	6008	6034	26
南小国町	2964	3017	53
小国町	469	491	22
産山村	852	902	50
波野村	239	209	-30
蘇陽町	144	107	-37
高森町	792	774	-18
白水村	358	360	2
久木野村	311	268	-43
長野村	271	337	66
西原村	605	605	0
合計	16064	16264	200
牧野総面積	22434	22128	-306

表4に、町村別の野焼き状況と平成10年から平成15年の間の増減を示した。

野焼きを実施している総面積は、5年の間にわずかながら増加している。野焼き面積は、牧野総面積の約7割を占める。

現在、野焼きを行っていない牧野は20牧野あるが、そのうち、放牧圧が高いために野焼きを実施していないと思われる牧野は2牧野(三共牧野：小国町、目細牧野組合：蘇陽町)のみである。

また、平成10年以降に野焼きを全面的に中止した牧野は、5牧野(矢ヶ部、小原、蘇原牧野組合 - 南小国町、竜神牧野組合 - 波野村、猿丸牧野組合 - 蘇陽町)あった。

(5) 輪地切り・野焼き出役状況

図9に、平成10年度と平成15年度における輪地切りと野焼きの出役者数を示した。両者ともわずかながら減少している。また、図10には、各牧野組合の輪地切り出役者平均年齢の分布を示した。阿蘇郡全体でみた輪地切り出役者の平均年齢は、平成10年の52.8才に対し、平成15年は55.7才と、5年間で2.9才高くなっている。平成15年では牧野組合単位でみた出役者平均年齢が、全体の平均年齢よりも高い(56才以上)の牧野組合は64組合であり、平成10年では出役者平均年齢が56才以上の牧野組合は32組合であったことと比較しても、高齢化が進んでいるといえる。

野焼き面積が増加していることからすると、のべ出役者数の減少と輪地切り等の牧野管理作業への出役者の高齢化は、各牧野組合にとって負担が重くなっていると思われる。

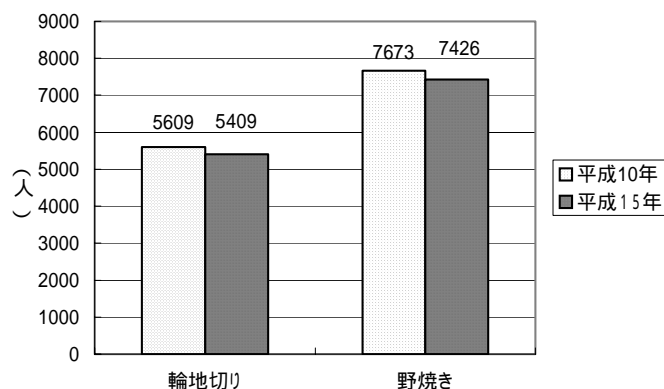


図9 輪地切り及び野焼きののべ出役者数の比較 (平成10年、平成15年)

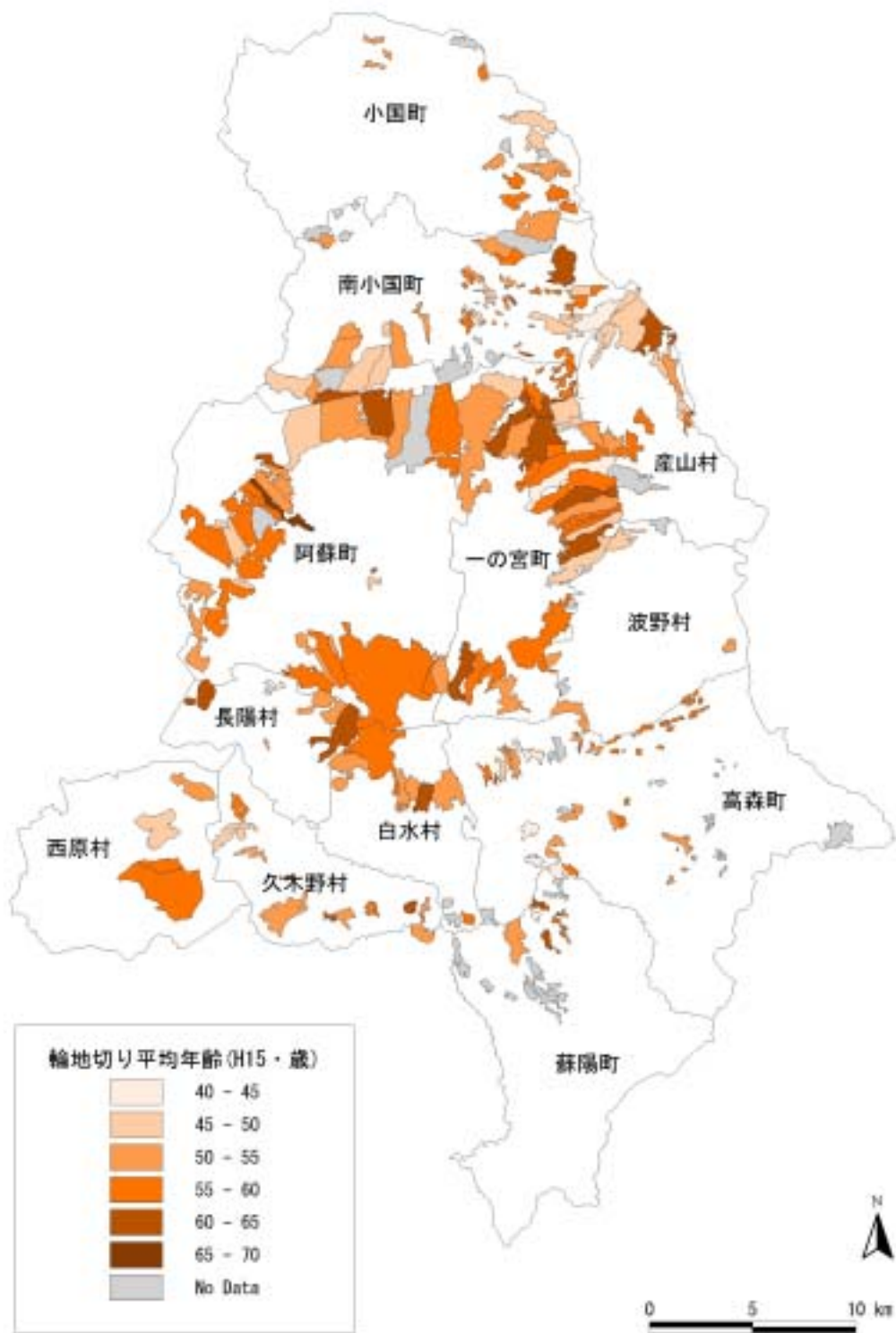


図 10 阿蘇郡内の牧野における輪地切り出役者平均年齢（平成 15 年度）

参考資料：

財団法人阿蘇グリーンストック，1999 年 12 月 阿蘇郡牧野状況及び牧野組合意向調査